



当院は平成22年より認定を受けております。



病院Facebook



病院HP URL



公益社団法人地域医療振興協会 市立恵那病院広報誌

# なんじゃもんじゃ

2018.7

vol.50

平成30年7月発行

## 当院における新生児・小児医療について

本年4月より市立恵那病院小児科に着任した幸脇正典と申します。地元の恵那高校を卒業後、当地を離れておりましたが、30年ぶりに戻ってきました。これまで、名古屋、浜松、豊橋でNICU（新生児集中治療室）に勤務し、新生児医療と先天異常のお子さんを診断・診療する遺伝医療を中心に診療を行ってまいりました。今後はこれまでの経験を活かし当地での新生児医療、小児医療に尽力したいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

今回は市立恵那病院での新生児医療・小児医療についてご説明します。新生児とは、出生時から生後1ヶ月までの間を指しますが、その医療は非常に専門性が高い領域です。日本社会は久しく少子高齢化が大問題となっています。実際、恵那市においても出生数は減少傾向となっています。このままでは社会の維持が困難となることが予測されるため、少子化対策は待ったなしの状態です。一人ひとりの子どもの命が、これまで以上に重要となり、ご家族の宝であると同時に、日本にとっても大切な未来であることがわかります。そんな中、昨年秋より、この市立恵那病院においても新しい命の産声が聞かれるようになりました。それまで当地域ではお産をする施設がなかったため、恵那市民の方々がお産をするためには、近隣市の産婦人科まで出向く必要がありました。

お産は家族にとっても大きな出来事です。元気に出生するのが当たり前と思われがちな新生児ですが、現実的には出生後すぐに医療を要する新生児もいます。新生児の立場から見ると、母体内で呼吸もせず、食事もすることもなく、胎盤より酸素・栄養を供給されていた状況から、出生を契機とし、短時間のうちに自分で呼吸を行い、自分の力で酸素を取り込み、二酸化炭素を排出

するようになります。臍帯を切られると、栄養、水分も自分で摂取する必要に迫られます。生まれてくる新生児は、これらの準備を母体内で整えてから出生するのですが、出産予定日より早く出生した早産児や、低出生体重児を始め、胎盤機能不全などが原因で、母体内で苦しくなってしまう状態で出生した例は、この出生という劇的な状況の変化に対応できない場合があります。出生後すぐに問題となるのは、呼吸・循環不全と哺乳不全ですが、小さな体で出生してくる新生児は、予備力も少なく、適切な医療を行わないと、将来を大きく左右する状況にもなりかねません。このように出生後すぐに何らかの医療を要する例は、新生児20出生に1例とされています。

市立恵那病院では、お産の開始に伴い、今年4月より新生児医療を専門とする小児科医が増員となりました。産婦人科医や助産師を始めとする市立恵那病院スタッフと協力し、地域の周産期医療の拠点として皆様のお役に立ちたいと考えています。当院の新生児室では保育器、呼吸をサポートする機器、点滴を始めとする新生児医療の基本的な治療設備が備わっています。しかし、在胎33週以下で出生する早産児や、重度の呼吸障害を認める新生児の場合は、NICUを有する県立多治見病院へ搬送し、新生児の命を守っていきます。無事新生児期を乗り越えた後も、これまで同様、地域の小児医療の窓口として、引き続き当院小児科をご利用いただきたいと思います。当院では、かぜをはじめとする感染症、食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・ぜんそく等のアレルギー疾患、各種予防接種、乳児健診、発育相談など、幅広く対応しています。

ご家族とともに子どもたちの成長を見守っていきます。

（幸脇 正典：小児科（新生児）部長）

## INDEX

新生児・小児医療について……	1
看護の日……	2
あゆみの会春のウォーキング……	3
外来診療担当表……	4
編集後記……	4

基本理念 私たちは地域住民のために、質の高い、思いやりあふれる地域包括医療を展開します。



## 平成 30 年度看護の日

# 「ここからつながる地域の輪」

5月12日を『看護の日』と制定し全国各地で看護のPRを実施しています。

ではそもそも『看護の日』とはどうして制定されたのでしょうか？看護協会では21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を、私たち一人一人が分かち合うことが必要です。こうした心を、老若男女を問わずだれもが育むきっかけとなるよう、旧厚生省により、「看護の日」が1990年に制定されました。市民・有識者による「看護の日の制定を願う会」の運動が、きっかけでした。

近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、5月12日に制定されました。

1965年から、国際看護師協会（本部：ジュネーブ）は、この日を「国際看護師の日」に定めています。

当院では今年度の看護の日を5月11日、午前中の時間を利用し正面玄関ホールと2階の多目的ホールにて開催しました。外来に受診された患者さまや入院中の患者さまとご家族・面会者の方を対象に「栄養・嚥下して補助食品・認知症について・糖尿病について・ストレッチ」を実施しました。今回はリハビリスタッフの協力を得て、看護の日を盛り立てていただきました。参加して下さった方は65人でした。

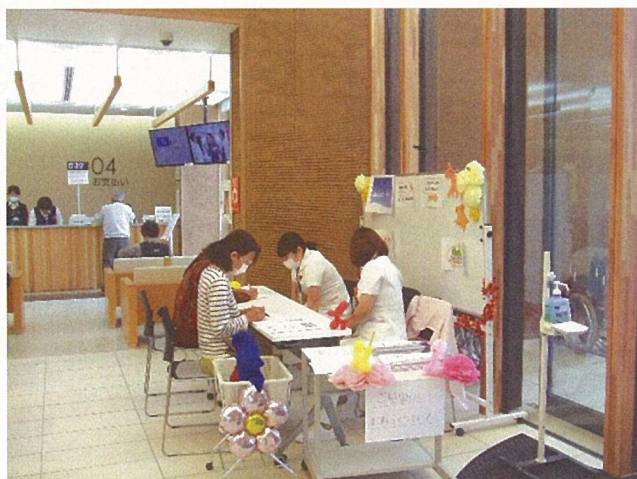
糖尿病看護認定看護師が「健康寿命は血压管理から～高血圧を救う、生活の知恵～」をテーマとして塩分味覚判定チェックを行い、減塩の参考として味噌汁などの塩からさを比較確認し健康的な塩分摂取方法を指導しました。また、認知症看護認定看護師には、本人や連れ合いの方・将来医療に携わりたい学生さんが相談に来て見えました。

恵那市からはエーナちゃんがサポートに来てくれ、外来患者さんだけでなく、病棟で療養をされている患者さんへ訪問することで心が癒され、患者さん一人一人の笑顔につなげることが出来ました。

今回の看護の日イベントは、看護師・介護士が地域のみなさまに、日々看護の心、ケアの心を忘れず、患者さんとご家族一人一人に向き合い、看護・介護を提供している事を伝えられることが機会

のなったと感じています。今後も、地域の皆様・入院患者さん、患者さんのご家族へ安心安全の医療・看護が提供できるように、チームで団結し看護の心・ケアの心・助け合いの心を忘れず対応していきたいと思ひます。

（西4病棟看護師長 鵜飼 寛子）







## 平成 30 年度 あゆみの会 春のウォーキング ～ 今年のテーマは遊・食・学 ～

あゆみの会 市立恵那病院糖尿病支援委員会

平成 30 年 5 月 20 日（日）に毎年恒例のあゆみの会春のウォーキングを滋賀県長浜市にて開催しました。あゆみの会ではウォーキングを毎年開催しており、一般会員様と医療従事者（医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士、事務職など）が参加し交流を深めております。

今年の旅行のキーワードは「遊ぶ」・「食べる」・「学ぶ」。糖尿病という病には、正しい知識を身につけ向き合っていくことが大切です。だからと言って節制する日々を送るだけでは楽しくありません。「実はこんな上手な付き合い方もあったんだ」を知ってもらい、皆さんが無理なく、毎日を楽しく過ごしていただくような内容を企画いたしました。

参加者は一般会員様とご家族、病院職員合わせて 19 名となりました。当日は晴天にも恵まれ、参加者の皆様の笑顔がたえることなく充実した一日が過ごせたかと思えます。

### 遊ぶ 学ぶ ～移動中だって、遊びながら学んじゃえ～

移動中も交流の場。和やかな空気で一日を楽しく過ごせるよう、移動の車内ではチーム対抗のレクリエーションを企画しました。内容は、①カロリー当てクイズ ②糖尿病・見学地クイズ③勝ち残れ！後出しジャンケン。豪華景品を狙い、チーム対抗で行ったレクリエーションでは、皆さんの「へ～！そうなんだ！！」の声が多く聞こえたり、大量得点を狙った後出しジャンケンでは白熱した盛り上がりを見せていただきました。



### 食べる 学ぶ ～昼食は創業明治 20 年の老舗にて～



昼食は創業明治 20 年の老舗、成駒家さんと当院の管理栄養士が綿密なカロリー調整を行い低カロリーメニューを考案。新鮮な素材を生かした郷土料理を提供して頂きました。移動中のレクリエーションで身体を動かしたせいか、皆さん予定時間を大幅に早めるほど食が進んでいました。昼食後は理学療法士による運動前の注意点、効果的なカロリー消費方法、準備運動などの講義を行いました。

### 遊ぶ ～思い出づくりにモノづくり。歴史を感じる町並みウォーキング～

昼食前には黒壁スクエアにてオルゴールデコレーション体験。皆さん思い思いのデザインでオルゴールに飾り付けを行いました。ワイワイとおしゃべりしながら・・・でもすごい集中してました！

昼食後は長浜散策。古い町並みやお寺めぐり。カフェめぐりをしている方もいて、それぞれにウォーキングを楽しんでおり、充実した穏やかな午後も過ごして頂きました。



### 学ぶ ～糖尿病の再確認～



帰りの道中は、当院の内科医師による 30 分間講義として、糖尿病の再確認に含めた講義をおこないました。「糖尿病と上手に付き合っていくには？」「普段から気を付けておくことは？」。皆さん疲れていたかとは思いますが、うとうとしながらも真剣に講義を聞いて下さいました。

### 旅行を終えて・・・

今年のテーマは、毎日明るく楽しく元気よく過ごして頂くことをコンセプトに企画を行ってまいりました。当日は皆様のご協力もありスケジュールを変更することなく進められ、また楽しい一日を過ごさせて頂いたことに大変感謝しております。余談ですが、写真を見るとスタッフが青い服を着ているの気づきました？これはチームあゆみの会オリジナルシャツなんです。皆さんもあゆみの会に入って、支え合うチームの一員になりませんか？





# 外来診療担当表

平成30年7月1日現在

## 午前の部

受付時間... (月～金) 8:30～11:30 (土) 8:30～11:00

診察時間... (月～土) 9:00～

診療科	診察室	月	火	水	木	金	土
内科	予約診療 診察室 C01	消化器・総合診療 山田 誠史	呼吸器 近藤 芳正	老年・脳卒中 細江 雅彦	呼吸器・消化器 近藤 芳正	呼吸器・肝臓 近藤 芳正	* * *
	予約診療 診察室 C02	循環器・不整脈 松野 由紀彦	総合診療 吉田 力	消化器・総合診療 山田 誠史	循環器・不整脈 松野 由紀彦	総合診療 吉田 力	* * *
	予約診療 診察室 C03	老年・脳卒中 細江 雅彦	* * *	総合診療 市川 伸也	循環器外来 亀谷* / 安藤*	* * *	* * *
	医療連携 診察室 C05	呼吸器・消化器 近藤 芳正	循環器・不整脈 松野 由紀彦	総合診療 吉田 力	消化器・総合診療 山田 誠史	老年・脳卒中 細江 雅彦	* * *
	初診・予約外2 診察室 C06	* * *	総合診療 新多 恵子	* * *	総合診療 大塩 学而*	総合診療 大塩 学而*	* * *
	初診・予約外1 診察室 C07	総合診療 市川 伸也	総合診療 細江 雅彦	総合診療 市川 京子	総合診療 市川 京子	総合診療 新多 恵子	交替
	診察室 A05	服部 誠	幸脇 正典	幸脇 正典	服部 誠	幸脇 正典	交替
診察室 A06	佐藤 顕治*	佐藤 顕治	佐藤 顕治	佐藤 顕治	佐藤 顕治	* * *	
外科	初診・処置・専門外来 診察室 B04	太田 博彰	予約診療 北村 文近	大腸・肛門 太田 博彰	北村 文近	奥山 裕照	交替
	予約診療 診察室 B05	予約診療 浅野 雅嘉	奥山 裕照	予約診療 北村 文近	予約診療(乳腺) 浅野 雅嘉	予約診療 太田 博彰	* * *
整形外科	主診 診察室 B01	伊達 和人	寺島 宏明	* * *	伊達 和人	寺島 宏明	交替
	副診 診察室 B02	寺島 宏明	伊達 和人	* * *	* 1) 第2のみ 寺島 / 廣田*	伊達 和人	* * *
眼科	診察室 A01	* * *	伊藤 麻耶里*	* * *	* * *	神野 安季子*	* * *
耳鼻咽喉科	診察室 A03	* * *	吉岡 哲志*	* * *	村嶋 智明*	* * *	* * *
産婦人科	診察室 K01	予約優先 伊藤 雄二	予約優先 伊藤 雄二	予約優先 伊藤 / 小谷*1	予約優先 小谷 倫子	予約優先 小谷 倫子	要予約 交替**2

## 午後の部

受付時間... (月～金) 13:30～15:00 (※小児科 13:30～15:30)

※午後診療は、救急・予約診療のみとなります。(小児科 月・木曜日、眼科を除く)

診療科	診察室	月	火	水	木	金
内科	要予約 専門外来	* * *	* * *	糖尿病・物忘れ外来 細江 雅彦	ペースメーカー外来 松野 由紀彦	禁煙外来 近藤 芳正
		* * *	腎臓内科 多田 将士	* * *	* * *	腎臓内科 多田 将士
小児科	診察室 A05	佐藤 顕治	* * *	要予約 (予防接種)	交替*	要予約 (予防接種)
眼科	診察室 A01	* * *	伊藤 麻耶里*	* * *	* * *	* * *

- (※)小児科:第3週月曜日のみ非常勤医師による診察があります。
- (※1)産婦人科:伊藤医師...第1・3・5週 / 小谷医師...第2・4週
- 産婦人科:土曜日は完全予約制(※2)、月～金曜は予約優先となります。平日当日受付の方は待ち時間が長くなる場合があります。
- 診療予約・予約変更について  
※産婦人科以外の診療科では初診予約ができません。当日ご来院の上、医事課受付窓口までお越しください。  
※診察予約・予約変更は専門ダイヤルをご利用ください。

**予約専用ダイヤル (0573) 20-1657 <予約受付時間> 平日 9:30～17:00**

- 休診日 土曜日午後・日曜日祝日・年末年始(12月29日～1月3日)
- 休診日・上記受付時間外の受診について  
休診日・受付時間外の受診については、ご来院前に必ず、お電話でご連絡ください。  
連絡無くご来院の場合、待ち時間が長く発生したり、手術都合等により他院受診をご案内する場合がございます。  
また、急を要さない診察の場合は、外来受付時間内の受診をご案内いたします。予めご了承ください。

## 編集後記

今年は麻疹(はしか)の流行のために沖縄への修学旅行が中止という新聞記事を読みました。感染防止には予防接種が重要です。抗体の有無が不明の場合は病院・診療所で検査を受けて、ワクチン接種をして感染が蔓延しないように注意しましょう。(総務課長:今井 裕志)